

川崎市議会議員(麻生区選出、無所属)

月本たくや



SNS 随時更新中!

ホームページはこちらから→

<http://www.tsukimoto.info>レポート
【第 57 号】

地域防災力の向上と防犯カメラの戦略的設置

～大規模災害対策と日頃からの防犯を考える～

✓大規模災害の発生時は、すべての人が被災者!

「自分の命は自分で守る」という考えは、大規模災害が発生した場合、市民も公務員も関係なく、すべての人が被災することから、自分の命は自分でしか守れないということです。

「自分の命は自分で守る」に加え、「地域のことは、地域で守る」という考えが地域防災の基本になります。さらに、地域というと、市や区の単位になりますが、もっと身近な生活圏として小中学校を中心とした一つの避難所エリアでの「地区防災力」を向上させる必要があります。

そのため、「自分事」を具体的に防災活動で形にしていくことに加え、そもそも関心のない人や、災害時は役所が何とかしてくれると思っている人にも関心をもってもらう機会をつくるのが大切です。

そこで、3月の予算審査特別委員会で提案した防災に関する質問の一部をご紹介します。

防災活動への女性の参加率の向上について

3年前の私の質問により「女性のための防災手帖」が改編されましたが、避難所の配置や妊産婦の避難等、女性の視点が必要になる避難所運営について、避難所をマネジメントする立場の女性比率が低いと、意識啓発を求めています。また、災害時に女性に暴行する卑劣な犯罪を防ぐために、地区での自警団結成も含めた防犯対策は、日頃からの防災活動の中で検討すべきです。

できる限り多くの市民に向けた防災意識の啓発について

市民向けの啓発には、紙面や Web だけでなく、様々なイベントの機会を活用していくべきと考えます。防災訓練は各地で実施しているものの、意識・関心の高い人が参加される傾向にあるため、より幅広い人に参加してもらえるような啓発の機会を検討すべきと考えます。2月に市民自治財団主催の講演会が実施され、高石町会の防災イベント「レッツ! 防災ピクニック」や百合丘小学校への出前講座等の取組が紹介されました。楽しく防災を学ぶこと、学校で実施することで、子育て世帯への啓発が進んでいるという実績があります。このような先進的な取組は、町内会・自治会はもとより、学校・PTA等の避難所運営会議の構成団体を中心に積極的に共有していくことを提案しています。

地区防災計画づくりと防災士の活用について

市民が主体となって、防災対策をリアルに進めるために、住民一人ひとりの防災行動計画であるマイタイムラインづくり、地区防災計画づくりがその機会になります。地区防災計画づくりを検討しているのは川崎市内では幸区で一件のみで、他の地区も含め、地区防災計画づくりの検討を啓発すべきです。それぞれの地区で防災士等の防災人材を活用した地区防災計画づくりを検討すべきと提案しました。私の質問に対し、令和4年度で防災士の属性の調査を検討していくとの危機管理監答弁があり、大きく一歩前進しました。

✓防犯カメラの戦略的な設置について

防犯カメラの設置は、犯罪抑止に一定の効果があることが示されています。私は初当選のときから、防犯カメラ設置補助事業の拡充を提唱し、平成 28 年度より、町内会・自治会等への防犯カメラの設置補助事業が始まりました。

私はこれまで防犯対策に防犯カメラの効果的な設置を提案して来ましたが、今年 2 月 14 日の本会議において、市長の施政方針の中で「防犯カメラの戦略的な設置」を検討する旨の発言がありました。そこで、私は戦略的な設置に向け、他都市での課題も踏まえ、課題の整理と対応を提案しました。

戦略的な設置である以上、基礎情報が必要であるため、市が把握している防犯（監視）カメラの設置状況を調査し、図は私が質問した 3 月 9 日時点で市が把握している状況です。補助に基づいて設置されているものは累計であるため、「現在設置されているかどうかは不明」で、黄色で色付けしている市の公共施設に設置されている防犯（監視）カメラは、ドライブレコーダーや施設内に設置しているものも含まれますので、この時点において、市は仕様の分類までは分析できていません。

神戸市では令和 2 年度から 2 年間で、市の直営設置が実施されています。そもそも神戸市は既存の設置補助事業で設置されていたものが 2,600 台あり、市が直営でさらに 2,000 台を設置するという事業です。川崎市との違いは、そもそも、神戸市のほうが 4 倍の設置数であることだけでなく、現在の設置場所を把握した上で事業が進んでいます。しかし、これまで、町内会・自治会や商店街等が、自己負担をしながら、防犯カメラを設置して来た背景がある中での導入なので、既存のカメラの今後の管理や更新についての様々な検討が必要になることは、両市ともに同じ課題が生ずることが予測されます。

これらの課題から、神戸市では数に入れていない公共施設に設置されている監視カメラの仕様を確認し、防犯カメラとしての役割を果たせるものを速やかに調査すること、早期に警察・町内会等・商店会等の関係機関と協議し、効率的・効果的かつ迅速な検討を進めるよう、市長に提案しました。

市が確認している防犯(監視)カメラの設置状況

	設置総台数	現在の設置台数
商店街施設整備事業補助金 で設置された防犯カメラ(※H14～R2年度)	347台	不明
防犯カメラ設置補助事業(市) で設置された防犯カメラ(※H28～R2年度)	240台	不明
防犯カメラ設置補助事業(県) で設置された防犯カメラ(※H24～H27年度)	20台	不明
川崎市が設置または管理する 防犯(監視)カメラ ※ドライブレコーダー含む		5,273台

学生インターン募集

私も学生時代、横浜市会議員事務所でインターンをしていましたが、大学を超えた当時の仲間と今も続いています。

例えば、こんな方もお気軽にお問い合わせ下さい。

- ・政治家って普段どんなことしてるの？
- ・川崎市の行政の現場を見てみたい。
- ・気になっている社会問題を一緒に勉強したい。
- ・川崎市の施設を見てみたい。など



お問い合わせ・お申込み

住所、氏名、年齢、電話番号、メールアドレス、SNS 等連絡先、所属校・学部・学年、志望動機(400 字程度)を、SNS の DM もしくは E メールでお送り下さい。

E メールは右の QR コードからお申込みください。



月本たくやプロフィール

昭和 53 年 大阪府豊中市生まれ。神奈川大学法学部法律学科卒業後、建築設備メーカーに就職。

川崎市長政務秘書、衆議院議員公設秘書(麻生区・国会担当)等を経て、平成 23 年より川崎市議会議員。

現在 川崎市議会議員(麻生区選出、無所属、当選 3 回) 文教委員会委員 防災士

神奈川県クラブ協会代表理事 NPO 法人防犯ネットワーク理事・麻生区支部長

神奈川大学川崎市宮陵会監事 三田学園同窓会東京支部幹事

川崎市麻生区男子ソフトボール連盟副会長 川崎百合ライオンズクラブ 2017-2018 年度会長

五力田町内会地区長 麻生区白鳥在住 家族：妻(会社員) 趣味：KUBB(スウェーデン発祥のスポーツ)



月本たくや事務所

麻生区白鳥 2-3-2 K コーポ白鳥 103

TEL 044(986)6010 FAX 044(330)1563

月本たくや

検索

